

2020年12月25日

交通教育NPO
OSCNじてんしゃスクール
代表 片山昇

聴講レポート

■聴講概要

大会名 日本安全教育学会 第21回静岡大会

主 題 安全教育における「主体的・対話的で深い学び」とは

日 時 2020年10月10日(土) 15:30~17:50
※YouTubeによるインターネット配信
11日(日) 9:30~16:48
※ZOOMによるインターネットライブ配信

会 場 常葉大学静岡草薙キャンパス
(コロナ禍によりオンライン開催)

主 催 日本安全教育学会
(The Japanese Associate of Safety Education: JASE)
理事長 戸田芳雄 (学校安全教育研究所代表)

主 管 日本安全教育学会 第21回静岡大会実行委員会

年次学会長・実行委員長 木宮 敬信 (常葉大学教育学部・教授)

後 援 文部科学省 静岡県教育委員会 静岡市教育委員会

日本安全教育学会ホームページ <http://anzen-kyoiku.org/>

大会プログラム掲載場所 (日本安全教育学会ホームページ内)
http://anzen-kyoiku.sakura.ne.jp/program_21th_fin.pdf

■ 聴講の感想

OSCN 代表 片山 昇

1、主催者 日本安全教育学会について

「すべての人が健康・安全な生活を営むことができるとともに、進んで望ましい環境の改善に資する態度、能力を習得できる手立てを構築することが、今日正に強い社会的な要請であると認識される。」(学会ホームページより抜粋)との理念の下、1999年(平11)に設立。安全教育に関する調査研究、普及啓発、並びに安全教育学領域研究の発展を目的としている。

設立当時の会長、吉田瑩一郎氏は、青森県の公立学校教員、同県教委指導主事、公立小学校長・中学校長等の経験を持つ。吉田氏は、昭和42年9月から平成元年8月にかけて文部省体育局学校保健課教科調査官、体育局体育官、体育局体育官等を歴任。昭和43年～平成元年の間に、三度、学習指導要領改訂に携わっている。日本体育大学の教授も務めた。

昭和から平成の義務教育、特に、学校安全や交通安全分野において、吉田氏の果たしてきた役割と影響力は大きい。

2、講演や発表について

研究テーマは、交通安全分野だけでなく、防災教育、災害安全、スポーツ事故防止、地域防災、安全教育、防犯、学校安全と幅広い分野にわたっている。

発表者は、教育学部系の研究者や大学生を中心に、大学の防災研究センターや学校教育現場の教員など。そして、安全に関わる民間企業、セコム等による発表も行われた。

特別講演は、静岡県の県立高校教諭(ICT推進委員長)による「新型コロナウイルス下における『主体的・対話的で深い学び』とは」。内容は、突然告げられた休校という状況下でのICT活用やオンライン教育の現状について。

今年度の学校を取り巻く社会状況の急変により、学校安全の視点からも、学業教育現場でも生徒の教育支援、学業継続の為に、「Beforeコロナ」と「Withコロナ」の学びの在り方を比較、分析。

新たにオンラインを積極的に活用した主体的、協働的な学びの在り方について、ニューノーマル時代の学びとは何か、という視点での発表は、大変興味深かった。

その他の発表でも大変参考になったのは、学校教育現場での児童生徒の実態を踏まえた「安全」に関する問題意識に基づいたテーマが多かった点である。

3、「安全科」 大阪教育大学附属池田小学校教諭の発表について

交通安全教育分野で大変参考になったのは、大阪教育大学附属池田小学校教諭 山崎雅史氏による発表、セッションG<安全教育>G-1「聴覚からの危険情報の収集に焦点化した安全教育」である。

この研究は、聴覚を生かすことで、児童が自分の身を自分で守れることを学ぶというもの。聴覚により得た情報を自分の身に生じる危険と結びつけることができる、ということ意識しなければ「知っているけど、できない」という状況になる。このことを児童が、体験を通して気づき「知っているから、できる」へと変容を促す。

児童は、聴覚からも危険情報を得ることができることを知り、それを活用することで危険予測をすることができる、ということ学習する。その結果として、児童が、安全な行動選択をすることができるようになることを期待する研究。

児童自身の危機感や、自ら潜在的な危険に気づこうという安全意識を高める学習は重要である。私は、数年前まで小学校現場で交通安全教育担当であった。当時を思い起こしつつ、山崎氏の発表に大変共感を覚えた。

池田小学校は、平成21年に文科省から教育課程特例校の認可を受け、教科の中に「安全科」を設けている。生活科、特別活動、総合的な学習の時間を一部活用し、安全科の時間を年間15時間以上実施しているとのことである。

各学年で、年間15時間程度の授業。他教科同様に安全教育カリキュラムが生まれ、災害安全、生活安全、交通安全、情報モラル等の内容がある。

交通安全だけを見ても、1年生から6年生までの全学年。歩行者から自転車まで。交通ルールとマナー。そして、サイクリング遠足をも含む、十分な時間と内容が確保されている。カリキュラムについては、ウェブ上で公開されている。<http://www.ikedae-edu.jp/anzen/>

また、2021年1月には、公開研究授業が予定されている。

「安全科」では、6年生「自転車～安全で快適なサイクリングに向けて～」がある。

交通安全教育分野の最終仕上げとして、サイクリング授業が行われるということで、大変興味深い。(最終ページに、池田小学校の公開授業資料を添付)

多くの義務教育校においては、安全教育に十分な時間を割くこともできず、形骸化を辿らざるを得ない状況がある。その様な中、池田小学校における、教科としての「安全科」の取組には、大きな感銘を受けた。

大会終了後、私は、山崎氏に直接、質問をする機会を得た。山崎氏とのやりとりの一部をご紹介します。

山崎氏 「イヤホンをして道路や歩道の真ん中を平気で歩いている姿をたくさん目にします。迷惑をかけている意識がないのだろうと思いますが、安全科で扱ったのには、自分の命は自分で守るという基本があるからです。自分の身を守るために、聴覚を始め、様々な感覚を生かし、危険情報を収集することが自分の身を守ることにつながる、ということを知ってもらいたいという思いでした。」

現在の多くの義務教育現場では、教科としての「安全科」のある池田小学校とは異なり、安全教育のために十分な時間を割くのが難しい現状について、山崎氏は以下のようにも語った。

「安全教育として、1時間行うというの、効果的だと思いますが、現在の多くの学校事情を考えると現実的ではないのかもしれませんが。となると、指導者が安全教育の視点を持ち、教科横断的に、授業の中でどのように扱うかによって、安全教育の扱い、そして、学びの深さも変わってくるのではないかと考えています。」

子どもが、危険に対して当事者意識を高めるという点に加え、教員が当事者意識を強く持ち、将来にわたり子どもの成長に影響する「安全教育」について、日々の様々な教科指導の中で取り上げていく。池田小のような特例校でなくとも、実践できる取り組みであろう。

児童生徒の交通社会における安全能力向上のための方策について、改めて考えを深める機会となった。日本交通安全教育学会の大会に改めて感謝を申し上げたい。

(片山 昇)

附属池田小中高共同研究テーマ

社会とつながり、 明日を切り拓く資質・能力の育成

～探究のプロセスの構築～



小中高・大学の教員が協働して
研究課題に取り組んでいます。

参加費
無料

参加
申し込み
必須

令和3年(2021年)1月23日(土)～2月7日(日)
オンライン上で公開 (録画・編集した授業動画)

場所：大阪教育大学附属池田小学校・附属池田中学校・附属高等学校池田校舎
〒563-0026 池田市緑丘1-5-1 TEL (072)761-3591 FAX (072)761-3594
主催：大阪教育大学池田地区附属学校
後援：大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会阪神教育事務所・大阪市教育委員会・池田市教育委員会

公開授業 (小学校)

学年	教科等	単元・題材・主題名	授業者	指導助言者
小学4年	国語	国語辞典に親しもう ～国語辞典に挑戦～	馬場 廣之	大阪教育大学 住田 勝
小学1年	算数	ひきざん(2) ～自ら発見・創造する繰り返り下がりのあるひき算の計算方法～	森村 俊輔	大阪教育大学 柳本 朋子 松本 明美
小学6年	社会	明治の国づくりを進めた人々 ～あなたは開国派?鎖国派?～	境 建人	大阪教育大学 峯 明秀
小学5年	理科	とがしたものを取り出せる? ～水の温度が下がると…～	工藤 健司	大阪教育大学 仲矢 史雄
小学5年	体育	スリータッチボール ～みんなでつなぐおもしろさ～	富本 浩史	大阪教育大学 井上 功一
小学6年	安全	自転車 ～安全で快適なサイクリングに向けて～	山崎 雅史	國學院大学 田村 学
小学3年	道徳	きよしのなやみ	森光 利海	大阪教育大学 金光 靖樹

公開授業 (中学校)

学年	教科等	単元・題材・主題名	授業者	指導助言者
中学1年	英語	Lesson6 My Family ～Withコロナ時代のつながり～	中田 未来	大阪教育大学 加賀田 哲也
中学1年	保健 体育	ポッチャ ～共生社会の形成に向けて～	森田 直樹	大阪教育大学 井上 功一
中学1年	社会	持続可能な社会における経済成長とは	西邑 悠佑	大阪教育大学 峯 明秀
中学1年	道徳	加山さんの願い ～批判的思考力を活用する道徳学習～	中塚 麻衣子	大阪教育大学 金光 靖樹
中学1年	理科	大地が火を噴く ～マグマからできた岩石～	藤井 宏明	大阪教育大学 仲矢 史雄
中学2年	数学	データの活用 箱ひげ図を用いたデータの分布の比較	塩田 和也	大阪教育大学 瀬尾 祐貴
中学2年	総合	探究的な学習を通してコロナウイルスを 多面的・多角的に捉え、考える	三好 達也	國學院大学 田村 学
中学3年	国語	漢文 ～典故を求める探究学習～	小林 信之	大阪教育大学 小路口 真理美